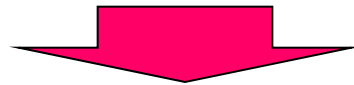


航路の合理化、効率化について

航路の現状

- 江田島市の航路は、企業局と5つの民間事業者によって運航
- 現在、運航に対する市からの補助は無し
(企業局の赤字は補填<H19、20年度>)
- 利用者減少、燃料費高騰によって、運航による採算性確保は厳しい

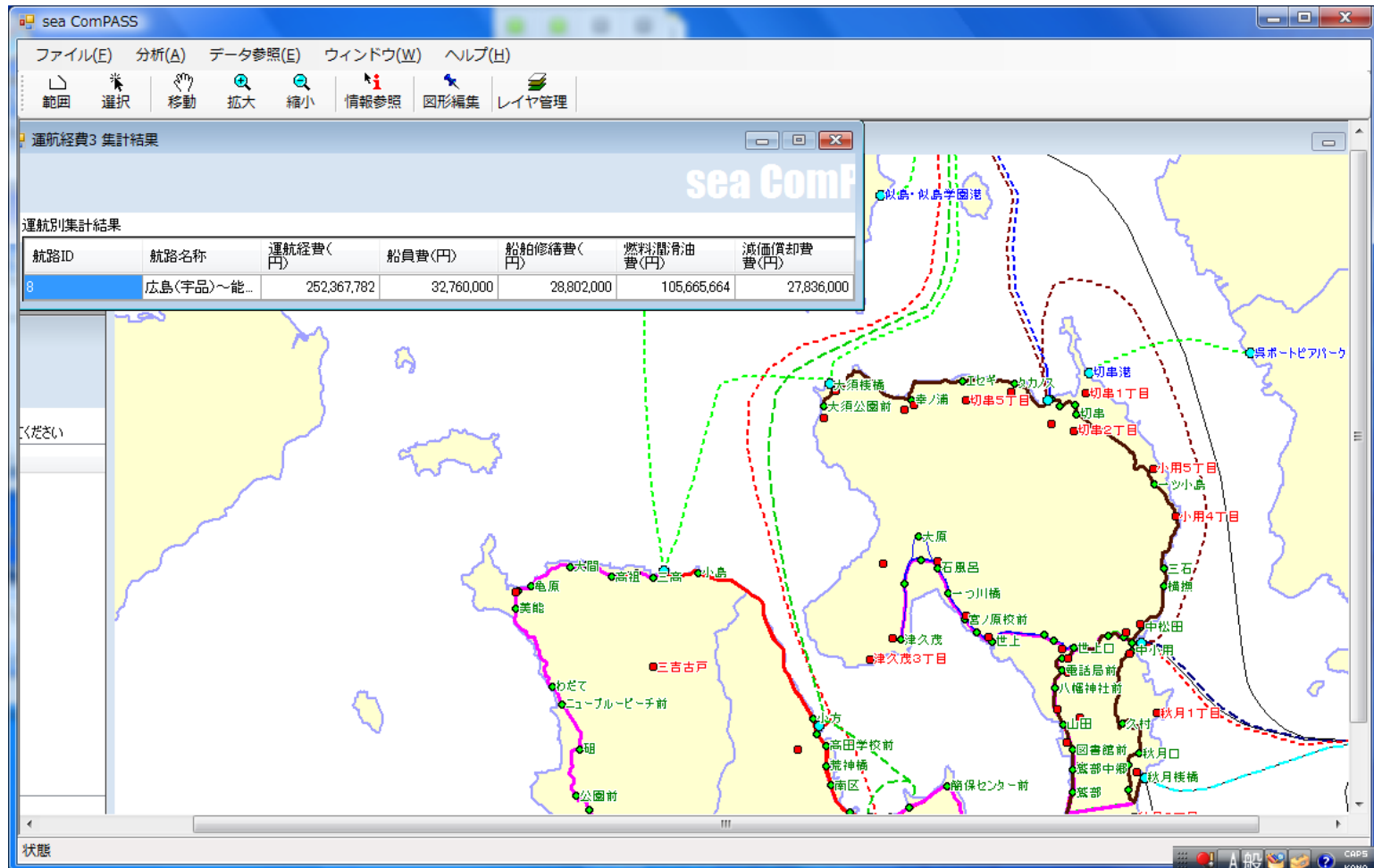


**江田島市における生活確保のために、
持続可能な航路のサービスを検討する必要性**

江田島市企業局の決算（H20実績）

- 汽船事業収益 711, 141千円
 - 一般会計補助金 90, 000千円
 - 固定資産売却による特別利益59, 119千円 含む
- 汽船事業費用 709, 416千円
- 収支 1, 725千円の黒字
 - 補助金・特別利益を除くと ▲147, 394千円

民間航路の収支推計 (Sea ComPASS)



民間航路の現況

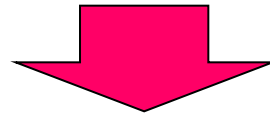
- 民間航路の収支に関しても、厳しい状況であると予想される。
- とりわけフェリー航路の収支が厳しい。
- 三高・大須～宇品航路については、事業主体の経営状況悪化から、
 - フェリー2隻運航から1隻運航
 - 三高～宇品16往復→11往復
 - 大須～宇品6往復→5往復

としたいという意向が中国運輸局に示されている。

江田島市の航路の課題と対応

- 航路の課題

- 企業局の収支は赤字、フェリーの収支が悪い
- 民間航路の状況も厳しい
- 三高・大須～宇品航路の減便意向がある



- 喫緊の対応

- 企業局の航路について、利用者に必要なサービス維持と収支改善に向けた航路再編
- 三高・大須～宇品航路のサービス検討

西能美航路の総合的な再編が必要